

平成28年12月19日（月）  
平成28年度 第6回  
大阪府河川整備審議会

資料  
2-1

---

## 淀川水系猪名川下流ブロック 河川整備計画(素案)について

---

# 審議経過

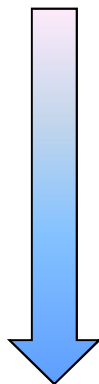
流域の概要



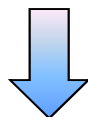
現地視察



当面の治水目標の設定



治水手法の設定



河川整備計画（素案）の審議

平成25年度 第9回大阪府河川整備審議会（平成26年1月27日）

平成26年度 現地視察（平成26年10月14日～24日）

平成26年度 大阪府河川整備審議会 第2回治水部会（平成26年12月4日）

平成26年度 大阪府河川整備審議会 第4回治水部会（平成27年3月26日）

平成28年度 大阪府河川整備審議会 第1回治水部会（平成28年10月13日）

平成28年度 第5回大阪府河川整備審議会（平成28年11月29日）

<審議結果>

- Ⅰ 猪名川、木代川、切畑川、石田川、箕面川、石澄川、茶長阪川、千里川、箕面鍋田川、  
芋川、神田川は、現状において時間雨量 50 ミリ程度に対して人家への浸水が生じないこと、かつ時間雨量 65 ミリ程度及び 80 ミリ程度に対して人家への危険度Ⅱ・Ⅲが生じないことから、「現状で当面の治水目標を達成」とする。
- Ⅰ 初谷川の当面の治水目標は、「時間雨量 50 ミリ程度対応」とし、治水手法は河道改修とする。
- Ⅰ 余野川の当面の治水目標は、「時間雨量 65 ミリ程度対応」とし、治水手法は河道改修とする。

平成28年度 第6回大阪府河川整備審議会（平成28年12月19日）

# 1. 流域の概要

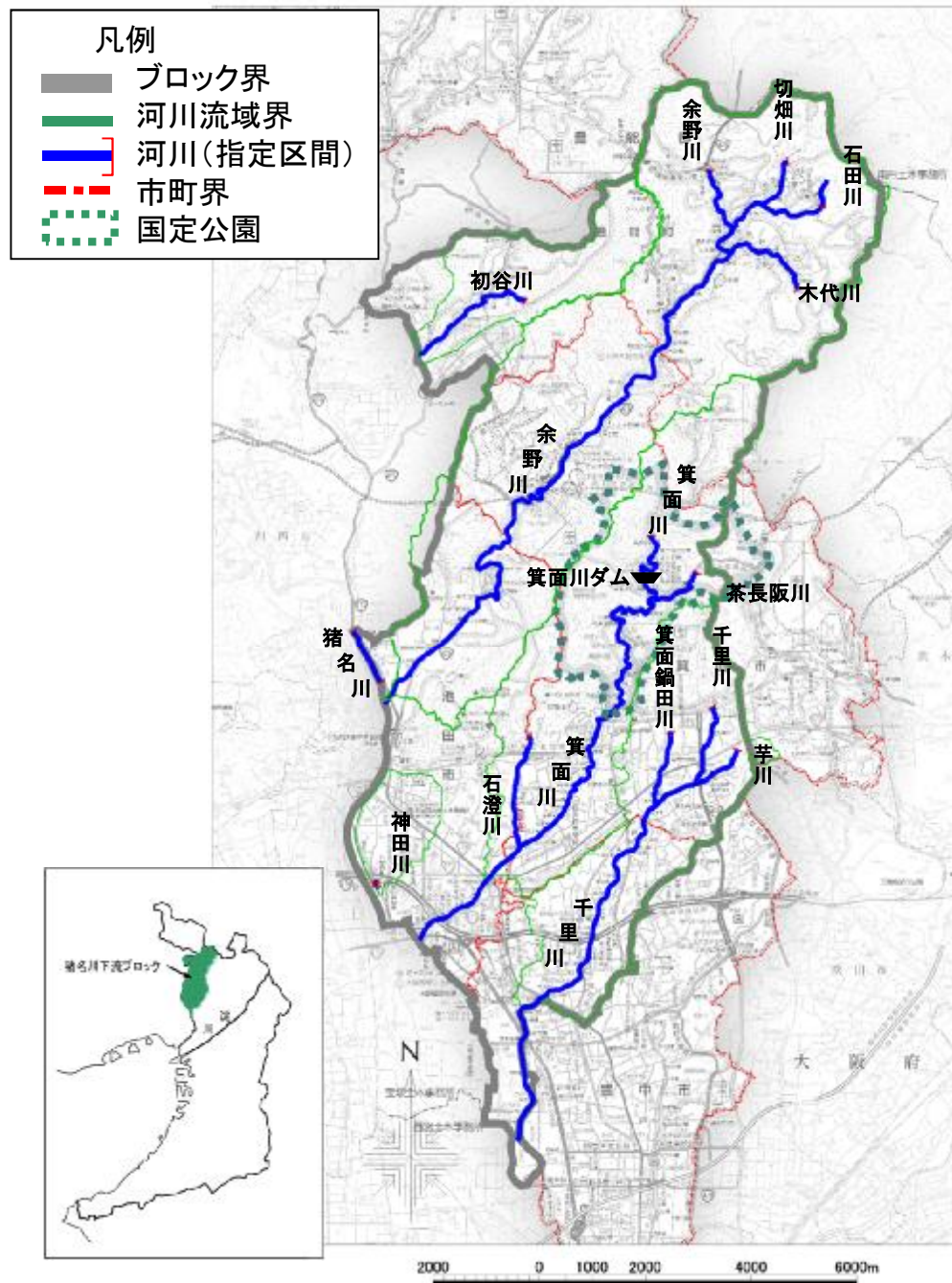
- I 猪名川下流ブロックは、北摂山地に源を発し、猪名川に合流する余野川、箕面川、千里川、神田川と一庫・大路次川に注ぐ初谷川の各流域から構成される。
- I 豊中市から池田市、箕面市にかけての北摂山地へ続く、北大阪丘陵では、山麓までが宅地開発されており、市街地化が著しい地域になっている。
- I ブロック内には、重要度の高い大阪国際空港も設置されている。

河川	流域面積(km <sup>2</sup> )	延長(km)
淀川水系		
① 猪名川	383.0	1.20
② 余野川	45.0	15.45
③ 木代川	5.5	1.91
④ 切畑川	4.5	1.99
⑤ 石田川	1.6	1.59
⑥ 箕面川	23.6	12.40
⑦ 石澄川	2.8	2.26
⑧ 茶長阪川	1.7	1.15
⑨ 千里川	14.0	10.70
⑩ 箕面鍋田川	1.8	1.59
⑪ 芋川	2.0	1.08
⑫ 初谷川	8.6	2.78
⑬ 神田川	2.5	0.07
管理延長合計		54.17

※延長は、大阪府管理区間を示す。

②、⑥、⑨、⑬は猪名川本川に合流

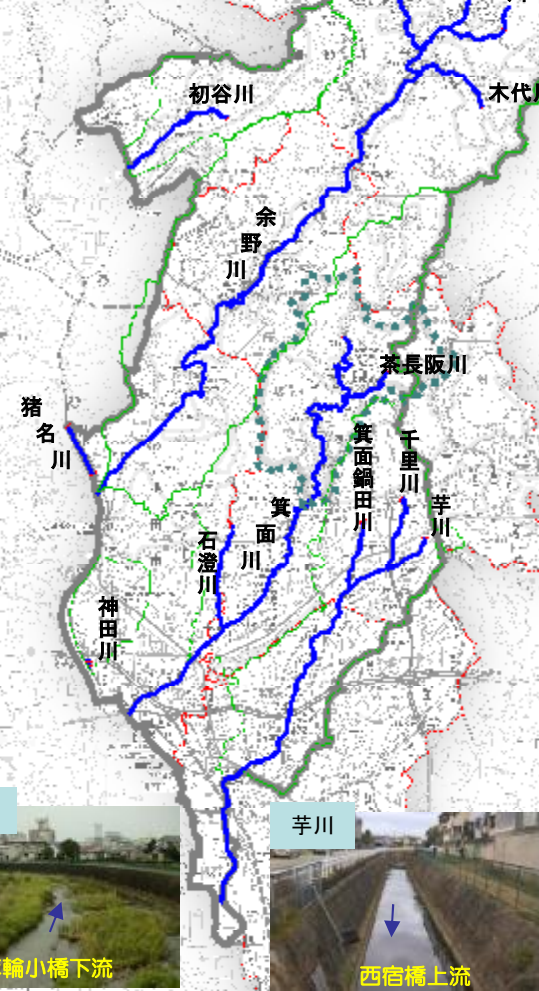
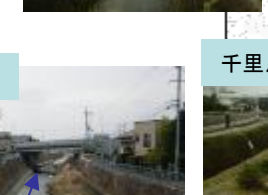
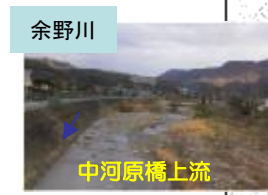
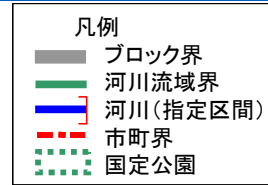
⑥、⑫は、管理区間下流端で兵庫県管理区間に流入





## 2. 河川の特長

河川名	川幅	河床勾配	備考
猪名川	約80~200m	約1/780	右岸側の兵庫県は住宅地として開発されているが左岸側の大阪府は田園地帯となっている。
余野川(下流部)	30m程度	約1/90~1/160	周辺は住宅が点在する田園風景が広がっている。
余野川(中流部)	15m程度	約1/30~1/90	河床は岩が露頭する溪流景観となっている。
余野川(上流部)	10m程度	約1/60~1/80	田園地帯を流下する里地景観となっている。
木代川	10m程度	約1/30~1/50	田園風景が広がっている。
切畑川	10m程度	約1/30~1/50	田園風景が広がっている。
石田川	7m程度	約1/30	田園風景が広がっている。
箕面川(下流部)	約15~25m	約1/70~1/150	護岸沿いに住宅や工場が立ち並ぶ市街地を流れコンクリートブロック護岸で整備されているが緑の多い河川景観となっている。
箕面川(中上流部)	10m程度	約1/15~1/100	山村区間が連続し、国定公園内の箕面滝など河床に岩が露頭し小さな滝が連続する美しい溪流景観を作り出している。
石澄川	約5~10m	約1/20~1/40	全面的に河床張コンクリートが設置されており、周辺は密集した市街地。
茶長阪川	10m程度	約1/10~1/30	府道豊中亀岡線沿いの山間部を流れている。
千里川(中下流部)	25m程度	約1/130~1/340	護岸が連続し、河床部は瀬や淵が連続的に形成されてきており、ヨシやススキなどの草本類が繁茂している。
千里川(上流部)	8m程度	約1/30~1/80	落差工が増え、人工的な河川景観となっている。
箕面鍋田川	7m程度	約1/30~1/100	下流部は市街地を流れますが、上流部には田園が周辺に残っている。
芋川	7m程度	約1/60~1/100	河床張コンクリートが設置されている。丘陵地を流れ川沿いには新興住宅地の中に残った農地が目立つ。
初谷川	10m程度	約1/30~1/110	ときわ台や光風台の住宅地を流れ、兵庫県境に至り、一庫・大路次川に合流。初谷川渓谷は大阪みどりの百景に選出されている。
神田川	6m程度	約1/100	池田市内の雨水幹線を流域に持つ河川で、河床張コンクリートが設置されており、神田川排水機場、神田排水樋門につながる。



- 猪名川は、上流の兵庫県境から余野川が合流するまでの**1.195km**が大阪府の指定区間となっており、国土交通省の直轄管理区間につながる。
- 余野川は豊能町の山地に源を発し、国道423号沿いに南西に流下して猪名川に合流する。
- 箕面川は、豊能町高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に合流する。
- 千里川は箕面市の箕面山に源を発し、芋川、箕面鍋田川と合流した後、豊中市の市街地を南西に流下し、大阪国際空港の南側を右岸に接しながら猪名川に合流する。

### 3. 流域の特性＜社会環境特性＞

#### ○流域の歴史・文化

- 猪名川下流ブロックには古くは京都から西宮を結ぶ西国街道が通り、かつては西国大名の参勤交代の道として本街道の大阪経由よりもよく利用された。
- 山間部には寺社が建立され、信仰の場として修験者が行き交っていた。現在、国指定重要文化財の「金禅寺三重宝篋印塔」、「如意輪観音坐像（瀧安寺）」、「久安寺の楼門」、「木造阿弥陀如来坐像（久安寺）」をはじめ、多くの歴史文化施設等が残されている。
- 無形文化財として池田市五月山の「愛宕火（市指定）」や箕面市白島の「白島の太鼓念仏（府指定）」がある。



如意輪観音坐像  
(瀧安寺)



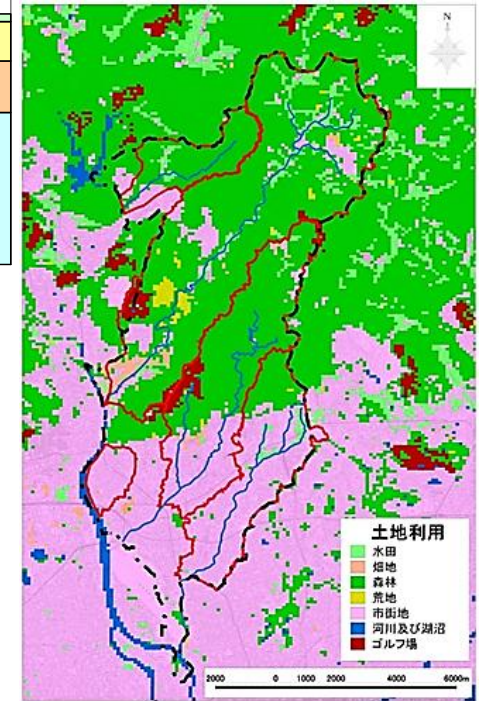
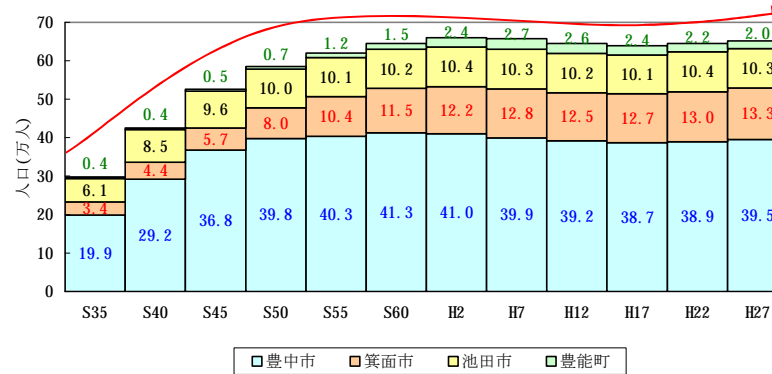
久安寺の楼門

#### ○景勝地

- ブロック中央の山地部は「明治の森箕面国定公園」に指定されている。箕面川流域周辺には箕面滝、箕面渓谷などの自然観光資源が分布し、アウトドアやハイキングを楽しむ場ともなっている。

#### ○社会環境

- ブロック内の各市町の人口（平成27年国勢調査）は、豊中市が395,479人、箕面市133,411人、池田市103,069人、豊能町19,934人である。
- 世帯数（平成27年国勢調査）は、豊中市が170,325世帯、箕面市56,829世帯、池田市45,777世帯、豊能町7,760世帯となっており、ブロック全体では増加傾向である。



箕面滝



# 3. 流域の特性＜自然環境特性＞

## ○鳥類

- ・河岸の切り立った崖等に営巣するカワセミ(大阪府レッドリスト:準絶滅危惧)、中州や河岸の砂礫地に営巣するコアジサシ(レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類)が見られる。
- ・平地部および丘陵地に位置するメッシュでは、河川敷の砂礫において繁殖するコチドリ(大阪府レッドリスト:準絶滅危種)・イカルチドリ(大阪府レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ種)やコアジサシ(大阪府レッドリスト:絶滅危惧Ⅰ類)、広い河原で生息するイソシギ(大阪府レッドリスト:準絶滅危惧)、ヨシ原を繁殖地とするオオヨシキリが確認されている。

川とのかかわりが深い種

番号	目	科名	種名
1	コウノトリ	サギ	ゴイサギ
2			ダイサギ
3			コサギ
4			アオサギ
5	カモ	カモ	カルガモ
6	タカ	タカ	トビ
7	ツル	チドリ	コチドリ
8			イカルチドリ
9			シギ
10			イソシギ
11	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ
12	スズメ	ヒバリ	ヒバリ
13		ツバメ	ツバメ
14		セキレイ	ハクセキレイ
15			セグロセキレイ
16		カワガラス	ミンサザイ
17		ヒタキ	オオヨシキリ
18			セッカ
出現種数			



第6回自然環境保全基礎調査、鳥類繁殖分布調査報告書  
環境省自然環境局生物多様性センター、平成16年3月

## ○哺乳類

- ・山間部ではアナグマ、キツネ、タヌキ、ニホンイノシシ、ニホンザル、ニホンジカなどが確認されている。
- ・平地部ではタヌキ、キツネが確認されている。



第2,4回自然環境保全基礎調査、動植物分布調査報告書(哺乳類)  
環境庁自然保護局(第2回:昭和55年3月、第4回:平成5年3月)

## ○両生類、爬虫類

- ・モリアオガエル、オオサンショウウオ(絶滅危惧Ⅱ類:大阪府レッドリスト)、カスミサンショウウオ(大阪府レッドリスト:絶滅危惧Ⅰ類)、ヒダサンショウウオ(大阪府レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類)、ダルマガエル(大阪府レッドリスト:絶滅危惧Ⅰ類)などが確認されている。



第2回自然環境保全基礎調査動植物分布図(大阪府)  
環境庁(昭和56年)

### 3. 流域の特性＜自然環境特性＞

#### ○魚類

##### 【千里川】

22種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)は7種が確認。中上流にカワムツが、中下流にオイカワが見られる。ドジョウは上中下流で、ナマズ、コイなどの大型魚や外来種のおオクチバス、ブルーギルが下流で見られる。

##### 【箕面川】

7種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)2種が確認され、上流でカワムツ、カワヨシノボリ、中流でオイカワ、タカハヤ、ドジョウが見られる。

##### 【余野川】

16種、うち貴重種(大阪府レッドリスト)6種が確認され、全川でカワヨシノボリ、カワムツ、中流でドンコ、中下流でシマドジョウ、下流でオイカワが見られる。外来種のおオクチバスが下流で確認されている。

その他、ムギツク、ギギなどの貴重種も確認されている。



【凡例】 (千): 千里川 (箕): 箕面川 (余): 余野川

一級河川一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書 大阪府 平成27年2月

#### ○底生生物

- ・貴重種(大阪府レッドリスト)としては、千里川マシジミが、箕面川でモノアラガイが、余野川でモノアラガイ、マシジミ、ミズカマキリ、フタスジキソトビケラ、シジミガムシが見られ
- ・その他の生物では、ゲンジボタルが箕面川と余野川で確認されている。



モノアラガイ



マシジミ



ゲンジボタル

一級河川一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書 大阪府 平成27年2月

#### ○昆虫

- ・貴重種(大阪府レッドリスト)としては、ムカシトンボが余野川上流と初谷川上流の山間部で、ムカシヤンマが箕面国定公園を含む中央山地一帯で、水田や止水部で生息するタガメが余野川上流と箕面川上流に生息。
- ・ゲンバイトンボ、ベニイトンボ、ハネビロエゾトンボ、ナニワトンボも確認されている。
- ・その他、ゲンジボタルが余野川上中流と箕面川上流で確認されている。



ムカシトンボ



ゲンバイトンボ



ゲンジボタル

第2回自然環境保全基礎調査動植物分布図(大阪府) 環境庁(昭和56年)

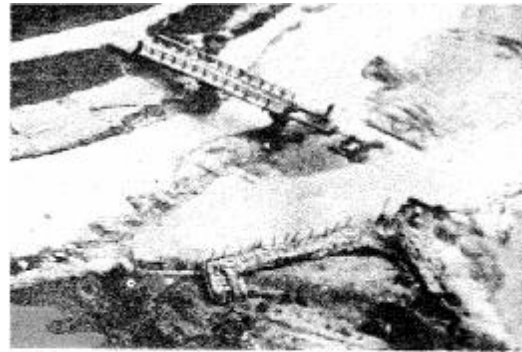


## 4. 治水の現状と課題

- Ⅰ 昭和35年8月の台風16号、昭和42年7月豪雨では、広い範囲で浸水が発生し、甚大な人的・物的被害が出た。
- Ⅰ 昭和42年7月豪雨を受け、千里川などの河川について、計画を見直し河川改修事業に着手。箕面川では、箕面川ダムを計画立案(昭和42年)、昭和47年より建設着手し、昭和57年にダムが完成した。
- Ⅰ 平成6年9月(上池田観測所で時間最大雨量133.5mmを観測)、平成18年8月(豊中観測所で時間最大雨量103mmを観測)に集中豪雨が 발생し、内水浸水被害が発生している。
- Ⅰ 余野川、初谷川の一部区間については、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水により、河川氾濫による人家への浸水被害が発生する恐れがあることから、河川整備が必要である。



猪名川・久安寺川(現余野川)  
合流点付近(昭和35年8月)



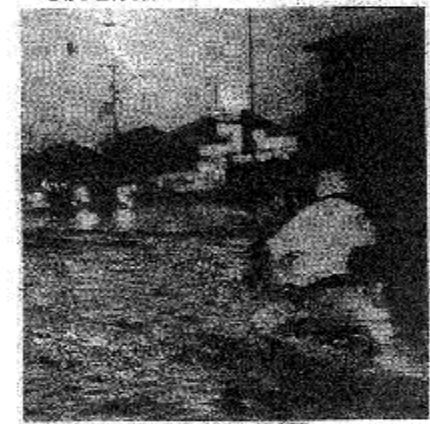
千里川 箕輪小橋付近  
(昭和42年7月)



箕面川 桜ヶ丘付近  
(昭和42年7月)



豊中市内  
(平成18年8月)



朝日新聞 夕刊  
(平成6年9月7日)



## 4. 治水の現状と課題・目標

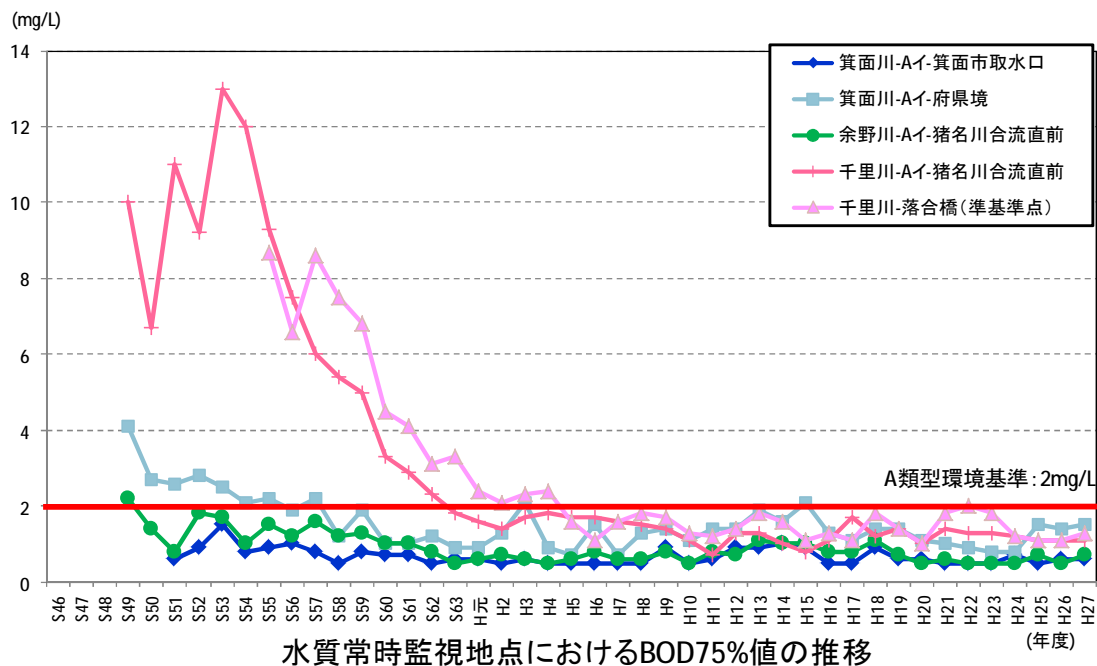
	現状・課題	目標	実施
余野川	時間雨量50ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫による、人家への浸水被害が発生する恐れがあることから、 <u>さらなる治水安全度の向上が必要。</u>	時間雨量50ミリ程度の洪水に対応した整備後でも、時間65ミリ、80ミリ程度の降雨により床上浸水が想定されることから、事業効率等を考慮して、 <u>時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことを当面の目標とする。</u>	整備対象区間において、 <u>河道改修（河道拡幅、河床掘削等）による洪水対策を実施する。（L=約1.62km）</u> なお、整備にあたっては、猪名川への通過流量が419m <sup>3</sup> /sを上回らないようにする。
初谷川	時間雨量50ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫による、人家への浸水被害が発生する恐れがあることから、 <u>さらなる治水安全度の向上が必要。</u>	時間雨量50ミリ程度の洪水に対応した整備を行うことで、時間80ミリ程度の降雨による洪水でも人命に影響を及ぼす被害は発生しないと想定されることから、 <u>時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水で床下浸水を防ぐことを当面の目標とする。</u>	整備対象区間において、 <u>河道改修（河道拡幅）による洪水対策を実施する。（L=約0.05km）</u>
千里川 箕面鍋田川 芋川 茶長阪川 石澄川	<u>時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫の恐れはない。</u>	現状で当面の治水目標を達成している。	—
猪名川 石田川 神田川	<u>時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫が発生した場合でも、人家への影響はない。</u>		
箕面川 木代川 切畑川	<u>時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水により、川からの氾濫が発生した場合でも、床上浸水は発生しない。</u>		

# 5. 河川利用及び河川環境の現状と課題<水質・水量・水利用>

- Ⅰ 淀川水系猪名川下流ブロックの環境基準点(4地点)全てで環境基準を達成(平成27年度調査結果)
- Ⅰ 箕面川ダムには、流水の正常な機能の維持を図るため不特定利水容量(30万m<sup>3</sup>)が確保されている
- Ⅰ 上水道用水(箕面川1ヶ所、余野川1ヶ所)
- Ⅰ 農業用取水(余野川4ヶ所、箕面川7ヶ所、千里川14ヶ所)

## <課題>

- 良好な水質の維持(環境基準達成)
- 水量の確保
- 堰の利用実態の把握、河川上下流の連続性確保



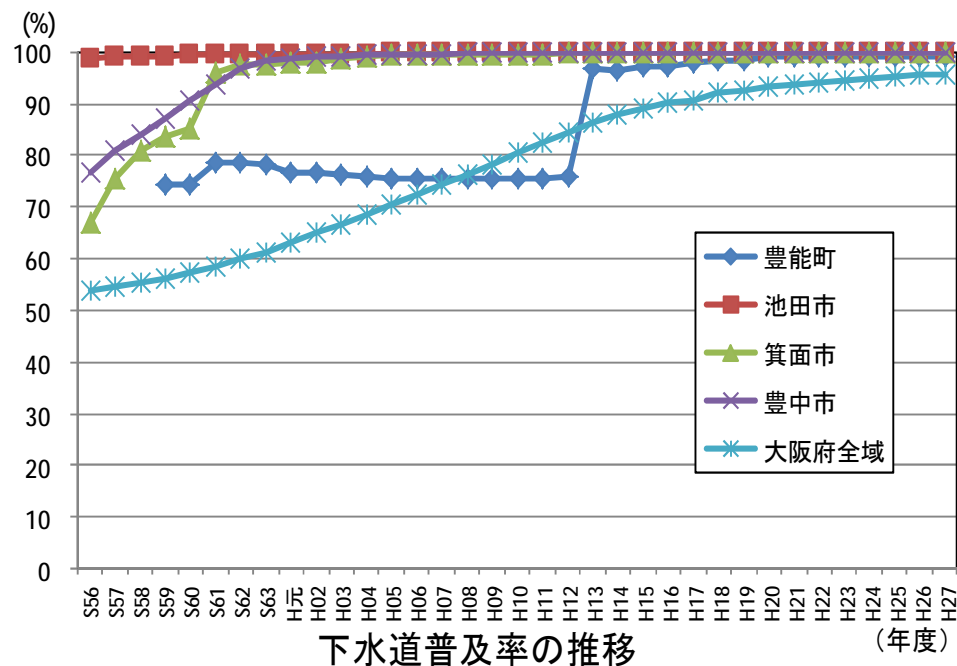
## 地点の流況

単位: m<sup>3</sup>/s

地点	豊水流量	平水流量	低水水量	渇水流量
千里川春日橋	0.11	0.04	0.04	0.00
箕面川箕面川橋	0.47	0.47	0.47	0.21
箕面川徳尾橋	0.23	0.17	0.12	0.06
箕面川大門橋	0.21	0.13	0.10	0.07
余野川高橋	2.02	1.08	0.43	0.12

資料: 箕面川、千里川: 平成24年流量観測資料より

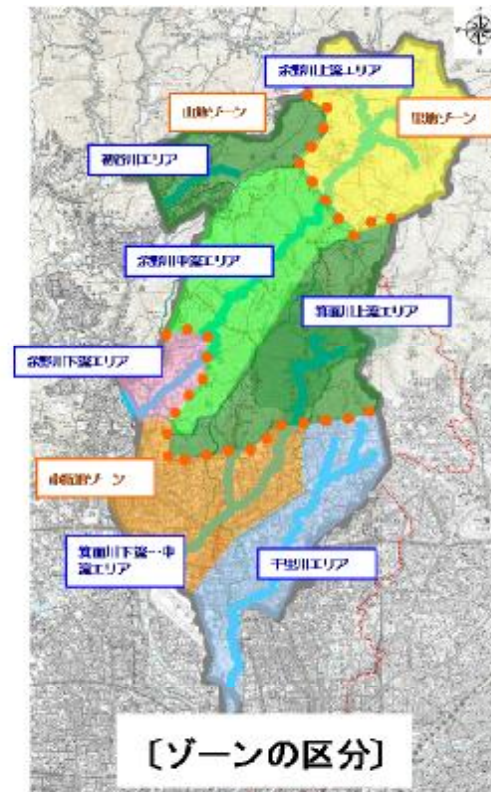
: 余野川: 猪名川下流ブロック河川整備計画検討委託報告書(H22)報告書より昭和48年~平成12年の平均値





# 5. 河川利用及び河川環境の現状と課題<空間利用・自然環境・景観>

- 箕面川が中心を流れる箕面公園は、北摂地域を代表する自然豊かな観光地として広く利用されている。観光振興、地域の活性化のため、川床が設置されている。
- 市街地では、千里川、箕面川、余野川の親水公園等を利用した水遊びや、水生生物の採取などを行う「水辺の楽校」が行われている。
- 千里川や箕面川ではアドプト・リバープログラムなど、地元の有志や団体により河川清掃実施されている。
- 里地・山地ゾーンは良好な自然環境を呈し、カワセミ、コアジサシ等の鳥類、カワムツ、シマドジョウ等の魚類、サワガニ、カワニナ等の水生生物、ムカシトンボ等の昆虫類など上流域を特徴づける生物が生息。
- 市街地ゾーンでは、イカルチドリ、オオヨシキリ等の鳥類、コイ、オイカワ等の魚類、サカマキガイ、アメリカザリガニ等の水生生物、キイロヤマトン等の昆虫類など下流域を特徴づける生物が生息。
- オオサンショウウオ、ドジョウ、ムギツクなどの重要種も確認されている。
- 箕面川流域周辺には箕面滝、箕面渓谷などの自然観光資源が分布。余野川や箕面川は、豊かな自然や渓谷美が楽しめる空間で多くの観光客等が訪問。
- 箕面川では自然公園、都市公園と一体的な遊歩道や親水階段が、千里川では大型ショッピング施設と一体となった親水公園などが整備。



箕面川・箕面滝



余野川・水辺の楽校



千里川・かやの中央せせらぎ公園

## <課題>

- 地域住民のニーズに応じた河道内へのアクセス改善
- 里地ゾーン: 周辺の農地と一体となった動植物の生息環境の保全
- 山地ゾーン: 周辺の樹林と一体となった動植物の生息環境の保全
- 市街地ゾーン: 身近な自然環境としての動植物の生息環境の保全やまちの景観に潤いを与える構成要素としての保全



カワセミ



ムカシトンボ



カワムツ



ムギツク

	名称	河川名	実施場所	団体名
①	アドプト・リバー・みのお千里川	千里川	箕面市	箕面市立第五中学校
②	アドプト・リバー・かやの中央	千里川	箕面市	かやの中央まち子育て交流会
③	アドプト・リバー・箕面川ダム	箕面川	箕面市	大阪府河川ボランティア(支援ネットワーク21)
④	アドプト・リバー・みのお川	箕面川	箕面市	みのお川を美しくする会
⑤	アドプト・リバー・箕面川	箕面川	池田市	箕面川を美しくする母親の会
⑥	アドプト・リバー・少路	千里川	豊中市	少路評議委員会
⑦	アドプト・リバー・橋尾	箕面川	箕面市	Binoo International Litter Fighters
⑧	アドプト・リバー・千里川文化協議会	千里川	箕面市	千里川文化協議会
⑨	アドプト・リバー・春日3丁目第壹	千里川	豊中市	春日3丁目第壹会
⑩	アドプト・リバー・ピバ! 箕面編田川	箕面編田川	箕面市	箕面編田川に水タルを呼びもどそう会
⑪	アドプト・リバー・余野川	余野川	池田市	瀬河コミュニティ推進協議会(池田市公益活動法人)
⑫	アドプト・リバー・余野	余野川	豊都町	余野自治会
⑬	アドプト・リバー・千里園	千里川	豊中市	レインボーク千里園



## 5. 河川利用及び河川環境の現状と課題・目標

	現状・課題	目標	実施
水質	<p>猪名川下流ブロックの各河川の水域は、A類型に指定されており、BOD環境基準は2mg/L以下となっています。</p> <p>水質測定地点5箇所<sup>1</sup>の過去5年間のBOD75%値は、余野川猪名川合流直前が0.5未満～0.7mg/L、箕面川箕面市取水口で0.5未満～0.7mg/L、箕面川府県境で0.8～1.5mg/L、千里川猪名川合流直前1.1～1.3mg/L、千里川落合橋で1.1～1.8mg/Lと、<u>良好な水質で推移しており、いずれの河川においても環境基準を達成しています。</u></p> <p>生物の生息や親水性の向上の観点から、<u>良好な水質を引き続き維持することが必要です。</u></p>	<p>下水道等の関係機関や、地域住民と連携し、<u>良好な水質の維持を目指します。</u>また河川で活動している地域住民やNPO等との連携し、河川美化、環境教育などにより<u>良好な水質の維持を目指します。</u></p>	<p>流域市町の環境部局による行政指導や下水道接続を促進し、<u>河川への生活排水の流入の削減に努めます。</u>また、関係機関や地域住民、学校、NPO等と連携し、<u>良好な水質の維持に向けた環境学習、啓発活動等を進めます。</u></p>
水量と水利用	<p>箕面川ダムには、河川の機能、環境など流水の正常な機能の維持を図るため、30万m<sup>3</sup>の不特定利水容量が確保されています。猪名川下流ブロックでは、豊能町の農村域を除くと、山地ないし市街地を占める割合が高く、水利用はそれほど多くありません。河川には固定堰が多数残されており、現状の把握に努めるとともに、ため池や調整池の有効利用、下水道計画との連携等により、<u>健全な水循環となるよう、住民との協働により取り組む必要があります。</u></p> <p>許可水利権として、箕面川では上水道用水1箇所とかんがい用水1箇所、余野川では上水道用水1箇所と養魚用水1箇所の合計4箇所があります。慣行の水利権として、余野川では4箇所、箕面川（石澄川含む）では7箇所、千里川（芋川含む）では14箇所<sup>2</sup>で農業用に取水されています。<u>安定的な水資源の確保に向け、今後も適正かつ効率的な水利用が図られるよう努める必要があります。</u></p>	<p>河川の適正な利用および流水の正常な機能維持に関しては、今後とも、<u>適正かつ効率的な水利用を目指します。</u></p>	<p>水利用については、<u>継続的な雨量、水位の観測データの蓄積と分析による水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の把握に努めます。</u></p>
空間利用	<p>箕面公園は観光イベントが季節恒例で行なわれるなど、北摂地域を代表する自然豊かな観光地として広く利用されています。</p> <p>河川環境維持に関する住民との協働については、アドプトリバー団体が千里川や箕面川を中心に現在13団体と増えてきています。箕輪親水公園や野畑親水公園が整備されている地点で活動が特に盛んであり、地元自治会、PTA、学校活動で多様な利用が行なわれています。</p> <p><u>このような活動を行うにあたり、河道内へのアクセスの乏しい箇所については、地域住民のニーズに応じて改善を図る必要があります。</u></p>	<p>河川に親しみ、ふれあい活動の場にするため、関係機関や地域住民と連携し、散策路や川に近づくための階段等の整備を図るなど、<u>川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成を目指します。</u></p>	<p>河道内へのアクセスの乏しい区間においては、<u>地域住民の利用ニーズを踏まえ、河道内へのアクセスの改善などに努めます。</u></p>



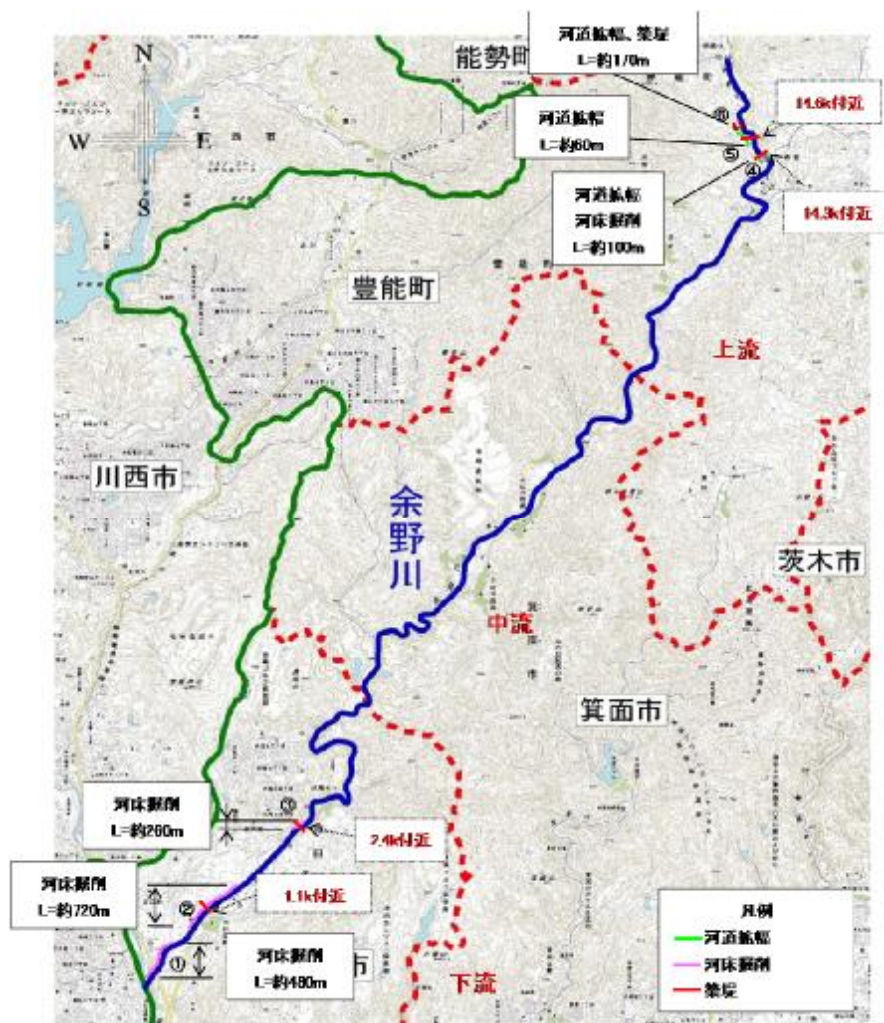
## 5. 河川利用及び河川環境の現状と課題・目標

	現状・課題	目標	実施
自然環境	<p>里地・山地ゾーンは河川は良好な自然環境を呈し、カワセミ、コアシサシ等の鳥類、カワムツ、シマドジョウ等の魚類、サワガニ、カワナガシ等の水生生物、ムカシトンボ等の昆虫類など、上流域を特徴づける生物が生息します。市街地ゾーンは、イカルチドリやオオヨシキリ等の鳥類、コイ、オイカワ等の魚類、サカマキガイ、アメリカザリガニ等の水生生物、キロヤマトンボ等の昆虫類など、下流域を特徴づける生物が生息するなど、河川は多様な動植物の生息・生育環境を育んでいます。</p> <p>里地・山地ゾーンにおいては、周辺の農地・樹林と一体となった動植物の生息・生育環境の保全が必要です。また、流域内外の人々が訪れ、豊かな自然を体験する場としての利用も必要です。市街地ゾーンにおいては、<u>市街地における数少ない身近な自然環境として、動植物の生息・生育環境の保全が必要です。</u></p> <p>また、取水堰や落差工については、河川における連続性の確保について検討する必要があります。</p>	<p>河川工事実施に際しては、河川全体の自然の営みや周辺環境の土地利用状況を視野に入れたうえで、「河岸やみお筋の保全」、「上下流の生物移動の連続性確保」、「周囲の景観との調和」など河川毎の特性に応じ、<u>多自然川づくり</u>を取り入れ、<u>それぞれの河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出を目指します。</u></p>	<p>河川整備にあたっては河床の平坦化を避け、瀬や淵、水際植生など、<u>動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。</u>上下流の連続性の確保については、<u>回遊性生物の生息状況を踏まえ、実現性、必要性、流域市や地域住民の意見等を考慮した上で、総合的に魚道設置等の検討を行います。</u></p>
景観・親水性	<p>箕面川流域周辺には箕面滝、箕面渓谷などの自然観光資源が分布し、アウトドアやハイキングを楽しむ場となっています。</p> <p>箕面滝周辺（箕面川）、箕面西公園（箕面川）では、近隣の自然公園、都市公園と一体的に遊歩道や親水階段が整備されています。</p> <p>萱野中央（千里川）では、大型ショッピング施設と一体となった親水公園が整備され、多くの人々が利用しています。一方、他の区間では河川は全体的に急で高い護岸が整備され、水際に近付ける場所はほとんどないのが現状です。</p> <p>今後も、河川空間の親水利用に対する要請は高まることが予想されるため、河川沿いの管理用通路の遊歩道、サイクリング道整備や、スポット的な親水空間の整備などが望まれます。</p>	<p>豊かな河川環境は重要な地域資源であり、良好な景観を維持・形成するため、川の周辺も含めた空間を考え、景観に配慮した材料を採用するなど、<u>周辺環境との調和を目指します。</u></p> <p>都心部においては、民間企業等の連携により、都市のシンボルとしての質の高い利用の促進を目指します。</p>	<p>河川整備の際には、周囲の景観に配慮した護岸材料の選定の工夫を行うなど、<u>河川周辺の土地利用などと調和した河川景観の形成に努めます。</u></p>

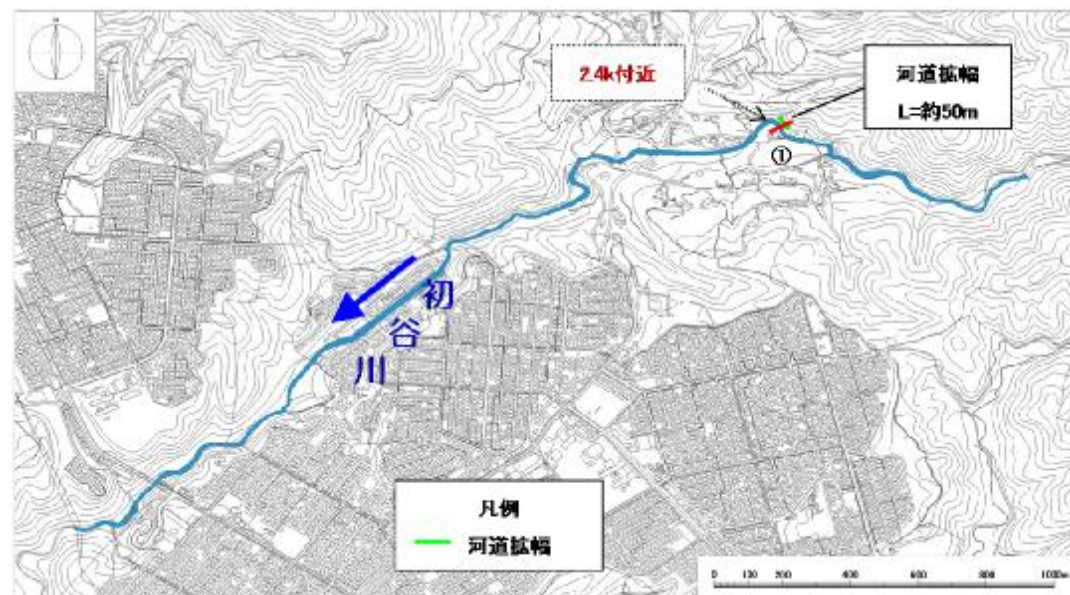
## 6. 河川整備の実施に関する事項

[今後20～30年の当面の治水目標に向けた対策を実施]

- Ⅰ 余野川は時間雨量65ミリ程度の降雨で河川氾濫による床上浸水以上の被害を防止する。
- Ⅰ 初谷川は時間雨量50ミリ程度の降雨で河川氾濫による床下浸水以上の被害を防止する。
- Ⅰ 千里川、箕面鍋田川、芋川、茶長阪川、石澄川、猪名川、石田川、神田川、箕面川、木代川、切畑川については、現況において府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の治水目標を確保できている。



余野川平面図



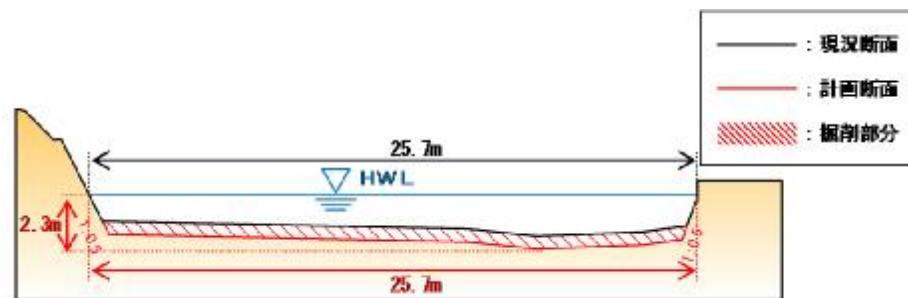
初谷川平面図



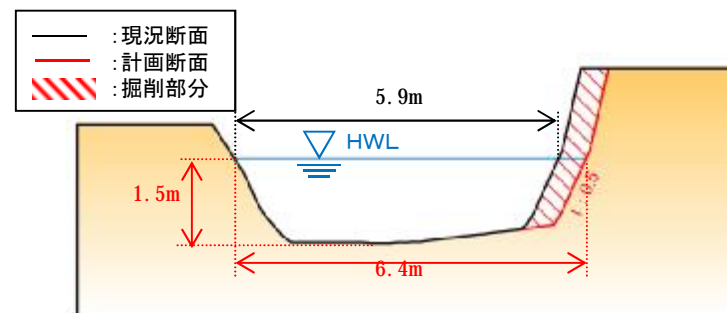
# 6. 河川整備の実施に関する事項

- 余野川では、下表及び下図に示すように時間雨量65ミリ程度による洪水を対象に整備を実施する。実施にあたっては、上下流バランスの確保の観点から淀川水系河川整備計画との整合性を考慮し、猪名川合流点の通過流量が419m<sup>3</sup>/sを上回らないように留意する。
- 初谷川では、下表及び下図に示すように時間雨量50ミリ程度の降雨で河川氾濫による床下浸水以上の被害を防止する。

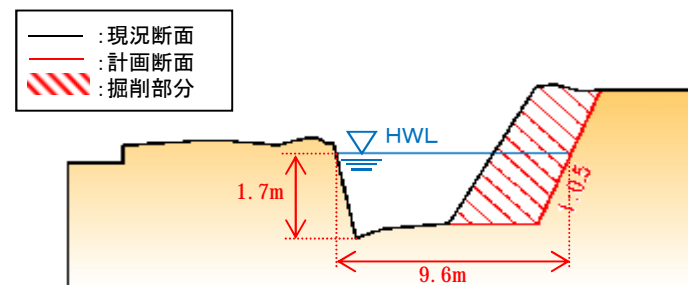
河川名	整備対象区間	整備内容
余野川	①猪名川合流点上流～池田市上水道排水処理場上流 (0.02km～0.50km)	局所的な浸水被害軽減対策を含め、河道拡幅及び河床掘削等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。
	②中川原橋上流～高橋上流 (1.00km～1.72km)	
	③新吉田橋上流～黄金橋下流 (2.30km～2.56km)	
	④小泉橋下流～城之越橋下流 (14.24km～14.34km)	
	⑤城之越橋上流～無名橋下流 (14.54km～14.60km)	
	⑥無名橋上流～野間口地域し尿処理センター下流 (14.67km～14.84km)	



余野川整備断面例(2.4km付近)



余野川整備断面例(14.6km付近)



初谷川整備断面例(2.4km付近)

河川名	整備対象区間	整備内容
初谷川	①初谷橋上流 (2.37km～2.42km)	局所的な浸水被害軽減対策を含め、河道拡幅及び河床掘削等により流下能力を確保します。 河道改修の際には、河岸やみお筋の保全、周辺環境との調和に配慮し、上下流の水生生物移動の連続性の確保に努めます。

# 7. その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

## 地域や関係機関との連携

- 流出抑制に積極的に取り組む
  - ・ 治水へのため池の活用手法を検討
  - ・ 調整池等の流出抑制施設を恒久的に存続させる制度を検討
  - ・ 家屋の耐水化や望ましい土地利用のあり方の検討
- 住民が的確に避難行動をとれるよう、流域市と連携し、様々な情報提供を行う
- 今後もより良い水辺空間を維持し、良好な姿で継承していくため、流域住民の理解をもとに、河川愛護思想の普及を図り、NPOや市民団体等との協働に努める

## 河川情報の提供に関する事項

- 河川氾濫や浸水に対して
  - 現状の河川氾濫・浸水による危険性の周知
  - 必要な情報の提供・伝達
    - ・ 洪水リスク図、地域単位のワークショップ
    - ・ ホームページでの情報提供
    - ・ 河川カメラの設置検討
    - ・ 地上波デジタル放送等での情報提供
  - 住民の防災意識の醸成



地域住民とのワークショップ（石澄川・箕面川）



洪水リスク図の開示状況



テレビデジタル放送画面例



河川カメラの映像